

計画事業番号	00410	事務事業名	ごみ減量化・資源化対策事業	担当部署	市民環境部環境課	電話	4105
--------	-------	-------	---------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務	根拠法令等	容器包装リサイクル法、北広島市資源回収奨励金交付要綱、北広島市生ごみたい肥化容器等購入助成金交付要綱				
事務事業開始年度	平成3年度	個別計画等	北広島市一般廃棄物処理基本計画、北広島市分別収集計画				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章)	美しい環境につつまれた安全なまち
	(第 2 節)	廃棄物対策の推進
	(施策 1)	ごみの減量化・リサイクルの推進
2 対象	〇市内の一般家庭から発生する生ごみ及び資源ごみ 〇資源回収団体及び集団資源回収の対象となる資源ごみ	
3 目的と内容	ごみ処理量の削減に向けて、小型家電、ミックスペーパーなどの再資源化、集団資源回収の奨励、生ごみのたい肥化など、資源化の促進とリサイクル意識の高揚を図る。	
4 実施内容(手段)	2017年度まで	<ul style="list-style-type: none"> 〇再資源化・再商品化委託事業(びん・紙・プラ) 〇集団資源回収奨励金助成事業(町内会等の団体への助成金交付) 〇生ごみ堆肥化容器等購入助成事業(コンポスト・電動生ごみ処理機) 〇廃棄物減量化推進事業交付金(減量化活動団体への交付金) 〇平成28年度から、生ごみ分別促進活動(ごみステーションでの啓発、事業所への分別指導など)を実施。 〇平成29年11月から拠点回収によりミックスペーパーの資源化を実施
	2018年度	<p>昨年度と同様に</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇再資源化・再商品化委託事業(びん・紙・プラ) 〇集団資源回収奨励金助成事業(町内会等の団体への助成金交付) 〇生ごみ堆肥化容器等購入助成事業(コンポスト・電動生ごみ処理機) 〇廃棄物減量化推進事業交付金(減量化活動団体への交付金) 〇生ごみ分別促進活動(ごみステーションでの啓発、事業所への分別指導など) 〇拠点回収によりミックスペーパーの資源化

【事業の計画・実績】

2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
再資源化・再商品化委託 集団資源回収の奨励 生ごみ堆肥化容器等購入助成 廃棄物減量化の推進 事業系生ごみ分別促進	再資源化・再商品化委託(413千円) 集団資源回収の奨励 生ごみ堆肥化容器等購入助成(438千円) 廃棄物減量化の推進 (300千円) 生ごみ(家庭系・事業系)の分別促進	再資源化・再商品化委託 集団資源回収の奨励 生ごみ堆肥化容器等購入助成 廃棄物減量化の推進 事業系生ごみ分別促進 ミックスペーパーの資源化	再資源化・再商品化委託 集団資源回収の奨励 生ごみ堆肥化容器等購入助成 廃棄物減量化の推進 事業系生ごみ分別促進 ミックスペーパーの資源化	再資源化・再商品化委託 集団資源回収の奨励 生ごみ堆肥化容器等購入助成 廃棄物減量化の推進 事業系生ごみ分別促進 ミックスペーパーの資源化	再資源化・再商品化委託 集団資源回収の奨励 生ごみ堆肥化容器等購入助成 廃棄物減量化の推進 事業系生ごみ分別促進 ミックスペーパーの資源化	再資源化・再商品化委託 集団資源回収の奨励 生ごみ堆肥化容器等購入助成 廃棄物減量化の推進 事業系生ごみ分別促進 ミックスペーパーの資源化	再資源化・再商品化委託 集団資源回収の奨励 生ごみ堆肥化容器等購入助成 廃棄物減量化の推進 事業系生ごみ分別促進 ミックスペーパーの資源化

【評価結果・評価コメント】

総合判定		2019年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	保 留	2017推進計画の決定による。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	これまでリサイクル意識の向上、ごみの資源化・減量化に向けて生ごみ分別促進など各種取組みを進めてきたが、さらなる資源化・減量化に向けてミックスペーパーの資源化拡大(収集方法の見直し等)を検討していきたい。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度		
決算額、当初予算額又は推進計画額		17,322	19,720	19,449	19,531		
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0	
		道支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	17,322	19,720	19,449	19,531	
		一般財源	0	0	0	0	
	① 合計	17,322	19,720	19,449	19,531		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	1.10	0.00	1.10	0.00	1.10	0.00
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
	④ =②×③	9,240	0	9,240	0	9,240	0
総事業費①+④		26,562	28,960	28,689	28,771		

【評価指標】

指標名		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
活動指標	①回収実施団体数	目標値	160	160	160	160
		実績値	122			
	②奨励金交付額	目標値	12,000	11,000	12,000	12,000
		実績値	10,298			
	③集団資源回収量	目標値	3,000	2,750	3,000	3,000
		実績値	2,575			
	④生ごみ分別啓発活動回数 (ごみステーション啓発回数)	目標値	20	20	20	20
		実績値	20			
成果指標	① 一般廃棄物処理量	目標値	15,948	15,902	15,857	15,805
		実績値	17,944			
	② 資源化量	目標値	5,329	5,316	5,305	5,290
		実績値	4,703			
	③	目標値				
実績値						

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	一般廃棄物の処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、行政の責任において行うものであり、最終処分場の延命化を図るためには、排出段階からごみの減量化、資源化を進めることが必要であることから妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	資源回収奨励金の交付により、リサイクル意識の向上やごみの資源化が図られ、最終処分場の延命化に寄与している。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	排出者の分別の徹底により、ごみの減量化や資源化が図られることから、分別の徹底に向けた分別方法の周知など、より一層の啓発活動が必要である。また、更なる資源化・減量化に向け、平成29年11月より開始したミックスペーパーの資源化拡大を検討する。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	堆肥化容器等の購入に対する助成や資源回収奨励金の交付により、ごみの減量化、資源化が進み、最終処分場の延命化に繋がっていることから、コストの削減は難しい。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。	

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号	410
--------	-----

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	廃棄物減量化推進事業交付金		
交付先の名称及び代表者名	北広島環境市民の会	設立年	平成16年
構成員(団体)数	個人会員47名、法人会員5団体、賛助会員7名 (30年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	北広島を、より良い状態で次の世代に引き継ぐことを目標として、廃棄物の減量化をはじめ、資源の有効利用のために市民の手で出来ることを幅広く行う。		
交付先団体等の活動内容	1 生ごみ堆肥化事業 ①コンポスト、段ボールを使った生ごみ堆肥化講習会(年10回開催 延べ132名参加) ②拠点でのミニ堆肥化講習会等(延べ121名参加)など実施 2 環境教育講習会 ・市民見学会(40名)、講演会(70名)、リサイクルミニ講座(年12回開催 延べ75名参加)など実施		
事務局の状況(29年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある <input type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当状況(29年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

	区 分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	300	300	300	
	会費	118	126	112	
	寄附金	18	12	10	
	講習会参加費等	73	43	60	
	購買益	11	13	15	
	繰越金	90	52	79	
	収入合計(B)	610	546	576	
支 出	会議・行事・活動費	249	227	265	
	旅費交通費	23	7	20	
	研修費	8	5	10	
	事務・通信費	77	61	75	
	展示園維持費	29	28	30	
	広報費	46	24	30	
	雑費・事務所維持費・予備費	127	115	146	
	支出合計(C)	559	467	576	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	51	79	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合 (A) ÷ (C)		54 %	64 %	52 %	
補助・交付金の対象経費 (項目)		研修費、雑費・事務所維持費・予備費を除く	研修費、雑費・事務所維持費・予備費を除く	研修費、雑費・事務所維持費・予備費を除く	
補助・交付金の対象経費 (金額) (D)		378	323	420	
対象経費に対する補助または交付金の割合 (A) ÷ (D)		79 %	93 %	71 %	

補助・交付金の算出根拠

北広島市廃棄物減量化推進事業交付金交付要領
(交付金の額) 第3条 交付金の額は、交付対象経費の額とし、予算の範囲内とする。